

慶應義塾大学における 学習支援の方向性を探る フォーカス・グループ・インタビュー

国公立大学図書館協力委員会主催平成19年度シンポジウム

2007年11月8日(木) パシフィコ横浜

慶應義塾大学利用者調査ワーキング・グループ

上岡 真紀子(慶應義塾大学理工学メディアセンター)

makiko@lib.keio.ac.jp



KEIO 150
Design the Future

150th Anniversary in 2008

慶應義塾大学メディアセンター 中期計画 2006－2010

■環境変化に対応した図書館サービスの実現

－ポータルサイトの構築

－重点サービス群

- 学習支援
- 協同レファレンス
- 情報アクセス
- 場としての図書館

－基盤整備

- 利用者調査

利用者調査WG

- 利用者ニーズを把握し、サービスの改善を図るための調査を行う
- 2007年度
 - 中期計画の方向性確認のためのフォーカス・グループ・インタビューの実施
- 2008年度
 - LibQUAL+® の実施

調査の概要

■調査の目的:

- 学習支援に対する顕在的・潜在的なニーズを明らかにする
- 学生がどのように学習しているのかを明らかにする

■調査方法:

日吉および湘南藤沢キャンパスの1・2年生を対象とした、フォーカス・グループ・インタビュー

フォーカス・グループ・インタビューの 概要

- 2007年7月に実施
- 日吉キャンパス、湘南藤沢キャンパスに所属する
学部の1、2年生
- 図書館に来る/来ないグループ × 2
- 1グループ 5～7名（計23名）
- 1回、約2時間

学習に必要な道具・場所・環境

広場

みんなで教えあいたい
みんなで相談

学びあい・教えあう場

自分たちだけの空間でグル
ワしたい

しゃべれないのはつらい
ちょっと飲んだり食べたりしたい

グル学が確保できない

時間の制約のない場所

はんだごて・Mac・映像編集機が必要

近いところに必要な資料がほしい

もっと入門的な資料がほしい

見たいときに見られない

過去問・模範解答・優秀レポートが見たい

PCが必要

コピー機、PC、プリンタ、ホチキス、ビデオカメラが必要

教科書・ノート・過去問

資料が古い

ホワイトボード、プロジェクタが必要

特教・ITCに行く

道具

すみっこ

ひとりで静かに集中したい
席が足りない
食べれないのはつらい

ひとりで勉強する場

HP

コンテンツに必要なものがない
試験勉強にHPは要らない
デザインがよくない
HPは見ない
OPACは使う
HPは使わない

知識・情報・スキルを持っている人

レポートを書いた
ことがない

職員室
ちょっとすぐ聞きたい

対面

会って聞いた方が
いい

知っている人

を知りたい

道具の使い方を
聞きたい

知っている人(内
容)に聞きたい

教員、SA、先輩、
同じ授業をとって
いる人に授業のこ
とは聞く

知っている人(顔
見知り)に聞きた
い

知らない人に聞く
のは恥ずかしい

身近で聞きやすい
人に聞きたい

精神的支援

励ましあいたい

夜中に友達に
メッセージする

友達に聞く

教員

生もいる

先

先生には聞きづら
い

先生はどこにいる
かわからない

図書館員

の職員は
ことを聞く
相手じゃない

メディアの職員に
にらまれたり注意
されたりする

メディアの職員に
聞きづらい

リビングルーム

家具

ソファがほしい

ちょっと飲んだり
食べたりしたい

食べれないの
はつらい

飲食

教養のための資料(小説, 一般雑誌, CD, DVD)がほしい

資料の情報(内容・装丁・書評、おすすめ)がほしい

本棚

見せ方を工夫してほしい

居場所がほしい

エビデンスに基づいた 学習支援の方向性

■環境整備

- ・ゾーニング：みんなで勉強する場所、一人で勉強する場所
読書のための場所
- ・道具：PC・データベース・はんだごて・映像編集機など

■人的支援

- ・道具の使い方についての知識とスキルのある人
- ・レポートの書き方について知識とスキルのある人

■課題

- ・文脈の中での提供
- ・利用者との関係作り
- ・人材育成

